



総務産業常任委員会所管事務調査

去る6月21日、総務産業常任委員会（山内委員長）の所管事務調査が行われましたので、その様子を報告します。

また、7月13日には7月3日からの豪雨被害の調査も行われましたので、併せて報告します。

また、全体的に施設の老朽化が著しいので、今後の町営牧場の必要性について、JAや改良組合の意見を聴取しながら、「おびら牛」のブランド化を進められたい。

⑦町営牧場（指定管理）の運営状況について
災害共済対象となる修繕については、早急に実施し、飼育管理等に影響が無いよう対応願うとともに、腐食等が進み危険度の高い箇所については、補強対応するなど、損傷の未然防止に努められたい。

①町営牧場堆肥舎屋根修繕工事並びに牛舎屋根修繕工事の進捗状況について



②公営住宅高台団地改善工事の進捗状況について
昨今の生活形態から、給湯設備や浴槽の設置は必須であり、居住性向上には効果的と考えられるが、建設時より30年以上経過している住宅については、残耐用年数を勘案し、計画的な改築（改修）に努められたい。

③文化財保管庫（旧うに種苗施設）の利用状況について
施設完成後、埋蔵文化財資料館等の展示品を移設し保管しているが、保存状態に疑問を感じる。後世に歴史的資料を適正な状態で残すためにも、必要な経費は予算計上し、保存方法を早急に検討すべき。



④大槻防災ダム管理運営状況について
平成15年の防災ダムの完成により、下流域について豪雨による被害を最小限に食い止めるなど、その効果は十分発揮されていると考えられる。平成21年に北海道より譲渡を受けたことにより、河川とダムの管理者が同一となり管理もスムーズに行えていると考えられるので、今後も最少経費で最大の効果が発揮できるように、適正な維持管理に努められたい。

⑤橋梁長寿命化修繕工事（大槻橋）の進捗状況について
小平町が管理する橋の約1/3に相当する24橋について、平成34年度を目標に長寿命化を実施する予定だが、町民の安全確保の観点からも、工事の執行には事故の未然防止に努められ、事業の遂行については計画とおりに進められたい。

